

2013年9月6日

公益社団法人 関西経済連合会

関経連米国使節団の派遣について

関西経済連合会では、2013年10月20日（日）から27日（日）に、森会長を団長に関経連米国使節団を派遣いたします。

現在、米国では、第二期オバマ政権の下、経済連携の推進、金融緩和、輸出倍増戦略、製造業支援などの政策効果を受け、経済が自律的な回復基調にあると言われています。

そこで、関経連では、米国に使節団を派遣し、政府の経済・通商戦略、製造業における投資の国内回帰や「ものづくり革命」、「シェール革命」など、経済の活況を支える新たな動きについて実状を把握するとともに、TPP協定や対アジア戦略といった日米共通の課題についても意見交換を行いたいと考えています。

折しも、日本では「アベノミクス」の第三の矢である成長戦略の実行が問われております。政府や企業関係者、日本国大使等との懇談や、米国の産業活性化の先進事例の視察を通じて、今後の「関西の成長戦略」を考える一助とするとともに、米国と関西のさらなる関係強化を図りたいと考えています。

< 関経連米国使節団概要 >

◇日 程： 2013年10月20日（日）～ 27日（日）

◇訪問都市（予定）： ワシントンD.C.、ピッツバーグ、サンフランシスコ

◇団構成： 森会長を団長に、松下副会長・国際委員長はじめ、関係委員会委員長・副委員長など 計25名程度で構成

◇訪問テーマ（予定）：

- ・ 第二期オバマ政権における今後の経済政策と米国経済の展望
- ・ 環太平洋経済連携協定（TPP）など今後の通商戦略、対アジア戦略
- ・ 「シェール革命」による今後のエネルギー戦略
- ・ 「ものづくり革命」の浸透による新たなイノベーション・新産業創出の先進事例 他

以 上

< 本件に関するお問合せ先 > 公益社団法人関西経済連合会 企画広報部・高橋、川本、鍵田

TEL：06-6441-0105